

住民説明会では新校舎整備巡り、相次ぐ不満の声

地区統合校問題《大湊高・むつ工高》住民説明会、開設準備委員会が相次いで開催

大湊高・むつ工高の下北地区統合校を巡っては新校舎工事の入札中止で将来的な校舎の在り方が不透明になっている中、青森県教育委員会による住民説明会（5月18日）、初の開設準備委員会（5月19日）がむつ市内で行なわれました。

60人程度が参加した住民説明会では10人以上が発言し、開校まで2年を切る中で今後のスケジュールが示されない現状に強い不満が示され、整備計画の白紙撤回を求める声が相次ぎました。他にも「整備方針の決定前に改めて地元への説明が必要」あるいは「新校舎に通学できるとしていた中学生の心を踏みにじっている」などの意見も出されました。こうした意見について主催した県教委からは「地域の方々の統合校に対する大きな期待に応えていかなければならない。より丁寧に説明し開校に向けて準備を着実に進めていきたい」と応じました。

また、翌19日に開催された開設準備委員会の初会合では新築前提としてきた校舎について既存校舎の改修も検討するとした県教委のスタンスに疑問の聲が上がりました。開設準備委員の一人の阿部むつ教育長はこうした点についても共に協議をして行きたいと求めたのに対し、風張県教育長はあくまでも整備方針が決定した後に説明すると強調、県教委主導の立場に固執しました。今後、地元の意見をどう反映して行くか県教委の今後の姿勢が問われることとなります。

なお、こうした動きに対してむつ市議会では定例会初日の6月3日、「下北地区統合校」について、早期に整備方針を示すように求める意見書案を全会一致で採択しました。意見書は宮下知事、風張教育長、丸井県議会議長宛てに定例県議会が開会する12日までに提出する予定です。

下北地区統合校を巡る工事入札中止と 県教委説明の経緯 ※本紙取材などを基に作成

2021年 11月12日	県立高校再編第2期実施計画が決定。大湊高・むつ工業を統合し、新設校を設置予定と明記。開校は27年4月
25年 2月26日	県が統合校改築工事の入札実施を公告。期限は3月13日
3月13日	一般競争入札参加資格審査申請書・技術提案書の提出者がなく入札中止
13～14日	県教委担当者が関係市町村の教育委員会に入札中止を報告。その中で「27年4月の開校延期」に言及
25日	県教委担当者がむつ市に入札中止の原因は「調査中」と説明。開校延期については「延期ありきではない」
4月3日	県教委担当者がむつ市に、むつ工の現校舎を当面利用し27年4月に開校する対応方針を説明。入札中止の原因は「建設業法上、必要な配置技術者の確保が困難だった」と報告
5月18日	むつ市で地元向け説明会を開催。統合校の開校後も、むつ工の現校舎を改修しながら利用していく検討案を初めて公表。保護者らから計画の白紙撤回を求める指摘が相次ぐ
19日	関係者計15人で構成する開設準備委員会が初会合



むつ市役所庁舎内で開催された住民説明会



むつ工業高校で開催された開設準備委員会

※ この記事は5月19、20日の東奥日報、デーリー東北から引用しました

さあ 7 月は参議院選挙です、与野党逆転へ絶好のチャンス！

来月 3 日公示、20 日に予定（国会情勢によってはそれぞれ 1 週間遅れも想定）される参議院選挙は、わが国の政治構図を大きく変える選挙となります。衆議院ですでに与党が過半数割れの現状にあり、自公政権に鉄槌を下す絶好のチャンスです。とりわけ、立民、共産、れいわ、社民の純粋野党の奮闘により、憲法と暮らしを守る政治に大きく舵を切らせることが重要です。

また、連合青森は 5 月 11 日、福士ますみさんについて本県選挙区での推薦を決めました。同日、塩谷進会長が福士さんに推薦状を手渡しました。

福士氏は「今の政権は現場で働く方々の声や思いが政策に反映されていない。政治の場に現場感覚と生活実感を取り入れることが使命だと思っている」と訴え、推薦に謝意を表明し何としてでも青森県から国政を変える決意を述べました。

カギ握る全国 32 の「1 人区」…与党は「コメ・カネ」で苦戦、野党は候補者調整が難航

与党が参院で過半数 125 議席を維持するには、50 議席が必要です。内閣支持率が低迷する中、与党内では「自公合わせてなんとしても、この 50 議席を確保することが至上命題」としてコメ問題での小泉新農相の立ち居振る舞いにしがみつこうとしています。

結果を左右するのが全国 32 の 1 人区です。2019 年参院選で、自民は東北地方で 4 敗でした。江藤拓・前農相の失言による更迭に続き、コメに関する政策を誤れば、

農業票の比重が大きい選挙区で苦戦する可能性は大いにあります。

また、自民派閥による政治資金収支報告書への不記載問題など「政治とカネ」への批判も依然としてくすぶったままです。1 人区には不記載があった旧安倍派の議員 6 人が出馬予定で、このことも与党内の懸念材料です。

一方、野党も選挙協力（候補者調整）が難航し、現時点で与野党直接対決が想定されているのは 10 選挙区に過ぎません。

参院選「1人区」で想定される与野党対決の主な構図

自 VS 立	長野、三重、宮崎など 10 選挙区
自 VS 共 国	富山、石川、山梨など 6 選挙区
自 VS 立 共	青森、福島、栃木、群馬
自 VS 立 維 共 国	滋賀、奈良
自 VS 立 維 共	岐阜
自 VS 立 共 国	福井
自 VS 立 維	和歌山

《参院選青森選挙区の情勢～東奥日報紙 6 月 2 日付より抜粋》

逆風やまず 与党危機感 衆院 3 区「結集軸失う」

「衆院選の逆風そのままに、選挙戦へ入っていく気がしている」

参院選本県選挙区（改選 1）に 3 期目を目指して出馬する自民党現職・滝沢求（66）＝公明党推薦＝は 5 月 18 日、青森市で開かれた自民県連の定期大会後、報道陣の取材に危機感をあらわにした。

派閥裏金事件などが直撃し、2024 年 10 月の衆院選で自民、公明両党は「少数与党」に転落した。県内 3 選挙区でも、自民候補は前回から 1 区で 1 万 5 千票近く、2 区で 4 万 3 千票余り得票を減らし 3 区は約 4 万 4 千票減らした木村次郎が議席を失った。

参院選で県連の総合選挙対策本部長を務める津島淳は「衆院選で負けた 3 区は、ハンディを背負っての戦い。組織一丸で臨まなければならない」と話す。木村は県連大会で「参院選の（3 区）選对本部長として、自分自身の選挙のつもりで、精いっぱい地べたをはう決意だ」と誓った。

八戸市出身で県南を地盤とする滝沢にとって、津軽での浸透は積年の課題。19 年参院選では、八戸市の得票率が 57%、上北、下北、三戸の各郡が 60%を

超える一方、青森市、弘前市、五所川原市など津軽の 8 市町村で立憲民主党の新人候補にリードを許した。津軽地方の 3 区に自民の衆院議員がいないまま選挙に突入する状況に、自民県議の一人は「選挙を戦う上での結集軸を失った。影響は大きい」と懸念する。

木村が次期衆院選候補予定者となる 3 区支部長に選任されるまでの過程で、弘前市支部からは木村に難色を示す声も出た。市支部は 5 月の臨時役員会で、参院選に向けた結束を確認。それでも「実動部隊となるメンバーの動きが本格化していない」「木村派が選挙で発揮してきた結束力は、今は衰えている」など、態勢への不安は消えていない。

陣営は参政党が擁立する新人・加藤勉（65）の動向にも気をもむ。保守的なスタンスの党だけに、津島は「票が一定程度流れるかもしれないという想定は、持っておかななければならない」と率直に語る。元海上自衛官という加藤の経歴に関しても、ある自民県議は「自衛官関係の支持層を持っていかれるかもしれない。（加藤の）出馬は痛い」と警戒する。

福士ますみさんを私たちの力で国会へ押し上げましょう！

自民党の混乱やコメ問題、物価問題などで政局は野党に有利に動いていますが、本県選挙区では過去 3 回の参院選挙で独自候補を見送ってきた共産党が早々と公認候補を発表し、先の衆院選で議席を失った高橋千鶴子さんの議席奪還に向け二人三脚で必死

に党勢拡大を目指しています。
そうした意味では当下北地域でも前回のよう得票を獲得することはかなり厳しい実情もあります。しかし、この機を失うならば再び与野党逆転はあり得ないとの思いで闘うことが必至です。

《前回・2022 年 7 月の参院選での田名部候補の下北地域での得票状況》

候補者 地域	田名部まさよ			自民党			その他		
	得票数	得票率	前回比較	得票数	得票率	前回比較	得票数	得票率	前回比較
むつ	11,536	47.88%	-122	11,360	47.15%	-4,069	1,197	4.97%	319
大間	934	48.70%	4	912	47.55%	-341	72	3.75%	9
東通	1,299	48.67%	62	1,268	47.51%	-482	102	3.82%	-7
風間浦	563	59.08%	-18	367	38.51%	-221	23	2.41%	6
佐井	468	53.98%	-19	371	42.79%	-230	28	3.23%	-14
下北合計	14,800	48.52%	-93	14,278	46.81%	-5,343	1,422	4.66%	313
県内合計	277,009	53.45%	-25,858	216,265	41.73%	-78,550	24,942	4.81%	6,871

※この表の前回比較は 2019 年参議院選挙結果ではありません。田名部氏初当選時（2016 年）のものです。
※2022 年の「自民党候補」は齊藤直飛人氏、前回比較対象の前々回は山崎力氏。
※いずれもここ 3 回の参院選では共産支持票は立憲民主党、民進党へ回ったとみることが妥当です。

《過去 5 回の参院選における本県の各候補の得票状況》

選挙年	候補者氏名	所属党派	新旧	得票数	得票率	推薦・支持
2022年	田名部 匡 代	立憲民主党	現	277,009	53.45%	社民推薦
	齊 藤 直飛人	自由民主党	新	216,265	41.73%	公明推薦
	中 条 栄太郎	参政党	新	13,607	2.63%	
	佐々木 晃	NHK党	新	11,335	2.19%	
2019年	滝 沢 求	自由民主党	現	239,757	51.49%	公明推薦
	小田切 達	立憲民主党	新	206,582	44.36%	社民推薦
	小 山 日奈子	NHK党	新	19,310	4.15%	
2016年	田名部 匡 代	民進党	新	302,867	49.19%	社民推薦・共産支持
	山 崎 力	自由民主党	現	294,815	47.88%	
	三 国 佑 貴	幸福実現党	新	18,071	2.93%	
2013年	滝 沢 求	自由民主党	新	261,575	51.33%	公明推薦
	平 山 幸 司	生活の党	現	76,432	15.00%	社民推薦
	波多野 里 奈	みんなの党	新	63,528	12.47%	
	工 藤 信	無所属	新	53,062	10.41%	民主推薦
	吉 俣 洋	日本共産党	新	48,290	9.48%	
	石 田 昭 弘	幸福実現党	新	6,659	1.31%	
2010年	山 崎 力	自由民主党	元	287,385	46.79%	公明推薦
	波多野 里 奈	民主党	新	222,875	36.29%	国民新推薦
	升 田 世喜男	たちあがれ日本	新	49,102	7.99%	
	吉 俣 洋	日本共産党	新	31,040	5.05%	
	山 田 清 彦	社会民主党	新	23,803	3.88%	

※太字の候補者が当選者です

福士ますみさんが
事務所開きを行いました

いよいよ選挙戦本番です。青森市浪打で 5 月 11 日に行われた事務所開きには田名部匡代さんをはじめ升田世喜男さん、岡田華子さんと党所属の国会議員や県議会議員など支持者ら 50 名が出席しました。

党本部からは小川淳也幹事長も駆け付け、青森選挙区を重要な選挙区と位置付け、党として支援する考えを示しました。また、本県の国会議員の与野党比率 4：3 を立憲 4、自民 3 へこの選挙で逆転することを誓いました。

次世代につなぐ
選ばれる青森へ
創る!進める!支える!

福士
ますみ

創る!

中小企業の活力を
新事業の創出、事業承継、海外展開の支援拡充
正規雇用者の社会保険料事業主負担を軽減
農林水産業の基盤を
安心して生産できる所得補償制度の復活
予防医療の提供体制を
健康管理・相談機能をもつ「家庭医制度」創設

支える!

物価高に負けない家計を
税負担の軽減、持続可能な年金制度の確立
暮らしの安心を
医療・介護・障がい福祉サービスの質や量の充実
育児と仕事の両立を
産休・育休の取得に伴う不利益の禁止
男女とも育休中の賃金補償を実質100%に

進める!

若者の地方回帰を
税制優遇による雇用や賃上げの促進、起業支援
住環境やインフラの整備、コミュニティの活性化
教育格差の解消を
就学前教育・保育の無償化、大学の授業料無償化
ジェンダー平等を
選択的夫婦別姓制度の導入、男女の賃金格差是正

備蓄米放出で参議院選挙を乗り切ろうとする石破政権、

来月の参院選を控え、厳しい情勢下にある自民党内からは「風向きが変わるかもしれない。減税にも年金にもコメで対抗できる」との声があります。小泉人気とカンフル注射的な備蓄米の随意契約で国民生活の窮地を乗り切ろうとしています。石

破総理は小泉氏との「二人三脚」で農政改革姿勢をアピールし一転攻勢にでたい考えのようです。しかしコメ政策は自民党内では手を付けることが難しい「聖域」とされてきた歴史があり、党内からも強い抵抗が予想されます。

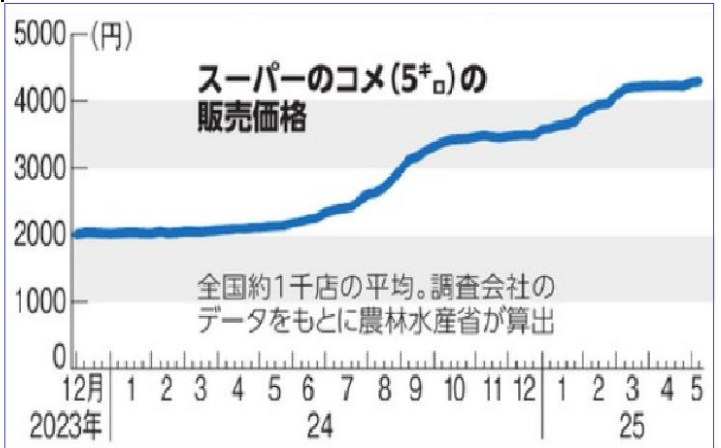
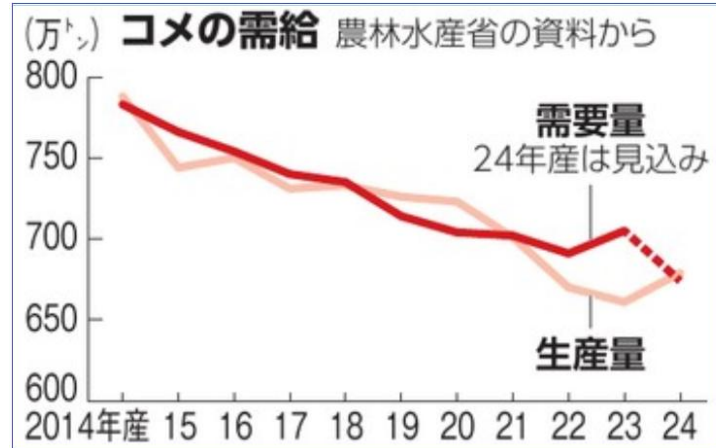
《甘くみた政府のコメ不足》

コメの価格の高止まりが続いている。政府は今春から備蓄米の放出を始め、さらに先月下旬から小泉新農相の元で格安備蓄米が話題となっています。しかし、この政策もいつまでどれくらい続き全国に行き渡るのかまだまだ未知数と言えます。

その予兆はその3年前からあったと言われます。農林水産省の統計で、2021年産のコメの生産量が需要を下回り、23年産で一気に広がりしました。661万

トンの生産量に対し、需要量は705万トンに達しました。

しかし、政府の危機感は小さく、当時の坂本農相（当時）は8月下旬の会見で「新米が通常より早く出回り始めており、不足感は徐々に減少していく」と楽観して特段の対策はしてきませんでした。そのため、業者によるコメの奪い合いが起き、価格も青天井で上昇し始めることになりました。



《備蓄米放出は値下げ効果となるのか》

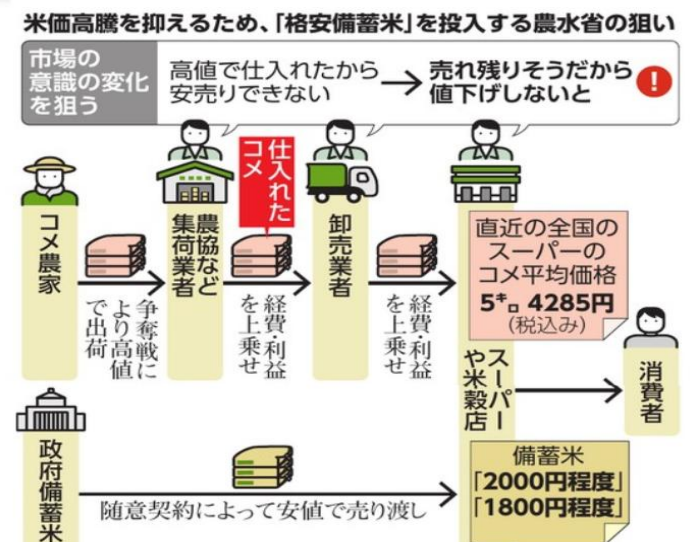
従来、備蓄米は入札によって売り渡し先を決めていましたが、政府はこれを任意の小売業者との随意契約に切り替えました。また、売り渡し価格を入札時の半額ほどに下げ、店頭での想定販売価格も5キロ「2千円程度」と明示しました。

すでに入札で放出した備蓄米は、おもにほかの銘柄米などとまぜたブレンド米として3,500円前後で売られています。今回の「格安備蓄米」の登場で、店頭で3種の異なる価格帯のコメが並ぶことになります。

政府にとって理想的なのは、格安備蓄米に人気が集まり、ブレンド米や銘柄米の割高感が強まり、売れ残りを懸念した業者の間で値下げの動きが広がれば、米価全体の水準が下がることにあります。

しかし、格安備蓄米として放出した玄米は2021年産と2022年産、幅広い消費者に受け入れられるかは未知数です。また、全国津々浦々まで格安備蓄米が普及するのにどれだけの期間を要するのか、逆に都会と地方の格差を見せつける結果になることにも繋がりがかねません。

また、アイリスオーヤマによると、随意契約による備蓄米の販売が決まった後も、通常ルートのコメの仕入れ値などに目立った変化はないということです。大手コメ卸業者の関係者は「銘柄米や入札の備蓄米は仕入れ値が高騰している。随意契約の備蓄米に水準をあわせて値段を切り下げることにはできない」と語り、その効果を疑問死しています。



自民党農政の根本問題には手を付けず国民を守れるのか

農民運動全国連合会のコメ問題への主張ポイント

もうがまんできない！コメ不足作ってアメリカ米輸入

米価高騰で消費者から悲鳴が上がっています。コメ不足が原因です。異常気象、ウクライナへのロシアの侵略戦争などで世界の食糧が逼迫しています。それでも政府は食料自給率向上・増産に背を向けています。そしてコメ不足を作ったあげく外国からコメを輸入しようとしています。

政治が作り出した米不足と価格高騰

コメ危機の原因は歴代自民党政権が生産の安定と供給に責任を持たず、農家には減反を押し付けたからです。コメ農家の時給は10円で、作る農家が激減しています。コメ作りを支えている中小農家はこの20年で120万戸も減り53万戸に激減しました。異常気象などで野菜・果物の生産は減り、畜産酪農の経営も深刻です。

農家はさらに激減～対策は、なし

農家の減少を食い止め若い生産者を増やすことは待ったなしです。ところが基本計画は49歳以下の担い手数を維持するだけで増やす気はなし。農地も増やすどころか減らす目標です。



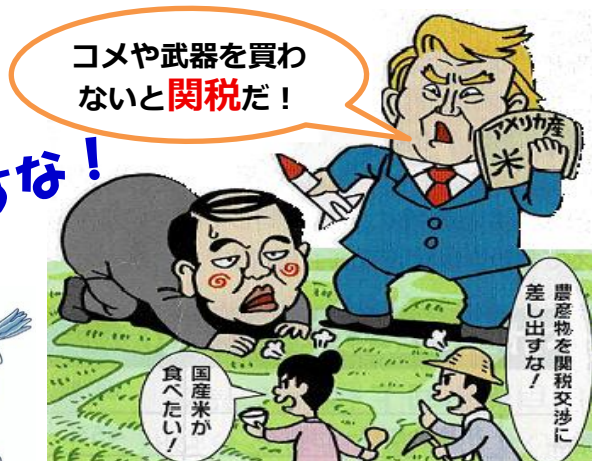
トランプ関税／
コメや農産物を差し出すな！



国民が飢えても構わないのか～政府の計画

4月に政府が決めた「食料・農業・農村基本計画」は国民を飢餓に追い込む最悪の中身です。食料自給率の向上目標は従来の45%に据え置いたまま。向上させる姿勢が全く見られません。

新たに摂取カロリー目標（1850kcal）を持ち出しあたかも自給率が53%になるかのようにごまかしています。これは食糧不足に苦しんでいた終戦直後の水準と同じです。『国民が飢えても構わない』という宣言です。



コメ不足の解決は増産しかありません

国内生産を破壊して「国民は輸入米を食え」は許せない！

米不足の解決は国政の最大の焦点です。十分な備蓄を確保し、国をあげて米の増産に踏み出すときです。逆に財務省は、「政府備蓄米を減らし、輸入米(ミニマムアクセス米)を主食に回せ」と迫っています。

家族農業を支え、価格・所得補償を

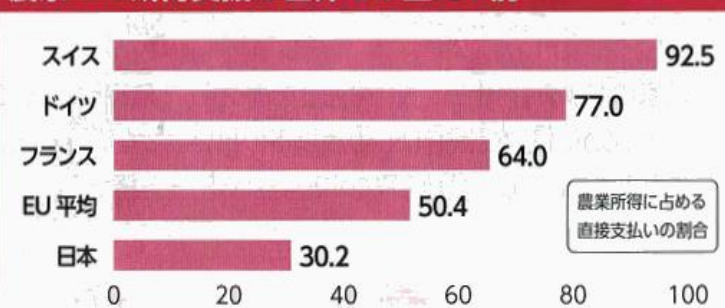
農家が安心してつくり続けられる価格と所得を実現しなければ、国民の食の安心も守れず、農家不足も解決できません。まともに農業を応援しないのは日本ぐらいです。世界の流れである家族農業を応援する農政に転換を。

「軍事費を削って農業予算を増やせ」と声を上げましょう。

食料自給率向上を農政の柱に

日本農業には本来豊かな生産力があります。アジア・モンスーン地帯に位置し、旺盛な生産力を持つ日本の農地の人口扶養力は、1人あたり9人で、ヨーロッパ諸国の2～4倍、アメリカ・オーストラリアの10倍強です。水田の力を生かす政策に転換すべきです。

農家への所得支援は世界では当たり前



※農民運動全国連合会の機関紙「農民」より抜粋しました。

看護師確保へ手厚い支援

むつ市安定採用と定着図る

10年働けば学費を全額免除します。むつ市は不足する看護師を確保しようとして、本年度開校した八戸学院大むつ下北キャンパスに対し、手厚い支援を展開している。キャンパス運営費を補助するほか、学生に対しては、むつ総合病院に勤務することを条件にした学費免除制度も。背景には、地理的条件などから若者流出に歯止めがかけられない現状への強い危機感がある。初年度は11人が入学し、学びをスタート。若者の流出が地方共通の課題となる中、施策の効果が注目される。

(佐藤航)

むつ総合病院によると、杉澤一徳事務局長は「一持している。ただ、無資格看護師職員の離職者は年20人程度出た若者に戻ってきてても以上のだが、採用は10人前後らうのは、地理的条件もある」とどまら。市内に養成施設がなく、毎年20人程度いるなら都会を選ぶ人も多という看護師志望者は市外に進学。進学先の地域や好待遇の首都圏などで就職するケースが多いという。

人手不足を補うため、看護

師をサポートする看護助手を増やし、医療体制を維持する。医療環境を維持するため、市は八戸学院大の看護学科に特化したサテライトキャンパスを誘致。学生が八戸市のキャンパスに週2回通うためのバス1台約1351万円と、看護学習に必要な備品の購入費約550万円を負担したほか、運営費として賃料相当額4500万円とバス運行費約280万円を毎年補助する。



看護師を目指して学ぶ八戸学院大むつ下北キャンパス

学生には「むつ総合病院に10年間勤務すること」を条件に返還を免除する修学資金貸与制度を創設。入学金と授業料、パソコンなどの学習教材費を含め、1人約640万円を見込む。

6/2 デーリー東北(抜粋)

高校統合問題では厳しい状況ですが、こちらでは地元の教育委員会も頑張っています

むつ「学びの多様な学校」

県内初 27年4月開校

むつ市の山本知也市長は2日、不登校の児童生徒に配慮し、カリキュラムを柔軟に組める「学びの多様な学校」（旧不登校特例校）を県内で初めて、2027年4月に開校する方針を示した。本年度限りで閉校となる奥内小学校舎に小、中学校を併置する予定。6月下旬に学識経験者らによる設置検討委員会をつくり、学校のコンセプトや通学支援の在り方などを協議、年内をめどに結論を出す。

2日の定例記者会見で、山本市長は「『行ってきた』『ただいま』、この当たり前の光景をどの子ども、家庭にも見せたい」と述べた上で、「少人数でゆったりしたペースであれば学ぶことができる不登校の児童生徒に、もう一つの学びの機会を保障するもの」と説明した。奥内小の地元住民には今後、設置について説明していく。

学びの多様な学校は文部科学大臣が学校教育法施行

規則に基づき指定する。授業時間は学習指導要領にとらわれず通常よりも少なく、授業は習熟度別にするなど柔軟に対応。一般の学校と同じ卒業資格を得られる。現在、全国58カ所に小学校12、中学校40、高校11の計63校ある（小中一貫校は各1で計算）。むつ市は23年、東北で初めて開校した宮城県白石市などでの取り組みを参考にすると、同市の不登校は年々増加。24年度末現在、小学校49人、中学校112人の計161人と前年度を13人上回った。

(本間善幸)

第17回大間原発反対現地集会

2025/7/27 (日) 11:30 大間町・地主の会共有地

《主催》大間原発反対現地実行委員会 (Tel070-5477-4296)

今回はご存知、田名部まつりを特集してみました。地元のみなさんには特に目新しいものはありませんが、下北最大のおまつりとして県内外の方にも知っていただきたいと思います。



《祭りの由来》

田名部まつりの起源がいつかは定かではないが、約370年以上の歴史をもつといわれている。

江戸時代中期の紀行家菅江真澄が田名部を訪れた際に書いた『牧の朝露』によれば、1793年（寛政5年）にはすでに現在の運行形態に近い状態で行われていたことがわかる。

かつて田名部は南部藩の代官所が置かれ、下北の産業・経済・文化の中心地となっていた。田名部自体には海に開けた港はなかったが、陸奥湾（大湊湾）に停泊した北前船からの荷の積み卸しが田名部川を通して行われ、その水運で栄えた町であった。下北からは上方に向けてヒバ、アワビ、ナマコ、コンブが出荷され、諸国からは西廻り航路を通して数々の珍しい物品がもたらされた。また、物だけではなく言葉や文化ももたらされた。

下北の産物は高級品として扱われ、上方や中国に長崎俵物として売られていった。そうして下北の町人は富を得たのである。下北は不毛の地と称されることがたびたびあるが、地元で作物が収穫できなければ買えば良かったのだ。

実際、当時の下北人は食うに困らず、俳諧などの文学や書をたしなみ、学問をする余裕があったと伝えられている。

江戸時代初期より、下北では多くの近江商人が活躍し、これらの

人々が言葉や文化の伝導に役かっていた。近江商人の出身地である滋賀県などを經由して、京都八坂神社の祇園祭が伝わったと思われる、その流れを汲み、山車の形態、囃子にその痕跡が見てとれる。それゆえ「北のみやび」とも称される。

昼の装飾は京都祇園祭の影響のある豪華なものであり、京都などに発注、中には遠く中国やペルシャなどの諸外国の材料や技術で作成されたものでもある。夜の装飾は見返り絵を始めとして、津軽地方・下北地方のねぶたの影響も加わったもので、町内で作成しているものである。

どのような謂われで伝えられ、定着したのかは不明であるが、いずれにせよ町人の経済力がなければ、山車本体、山車に使う豪華な調度品、御神体などを買うことはできなかったであろうし、心意気や祭をするだけの心の余裕がなければ維持し守り続けることもできなかったであろう。

田名部まつりは、かつて陰暦7月18-20日に行われていたが、1870年（明治3年）より現在の8月18～20日となった。



《山車（ヤマ）の運行》

田名部5町（横迎町/小川町/柳町/本町/新町）にはヤマと呼ばれる木製・黒漆塗りの山車がある。

ヤマは2階建てで、下の階には乗子（のりこ）と呼ばれる囃子方が乗り、上の階には御神体を乗せて運行する。金具装飾、漆絵、屋根の形式など細部の造りや装飾は各ヤマで異なる。車輪は木製の4輪である。車輪が木製であるだけでなく、ヤマそのものの高さもあるため、辻を曲がるのは難しく、そのため梃子（テコ）と呼ばれる専門者が辻での回転を巧みに操作する。ヤマには左右一対の綱がつけられ、人々が曳くようになっている。ヤマは昼夜で飾りを替える。昼間は刺繍を施した大水引き幕、小水引幕、見送り幕、御簾で飾られる。これらの幕は古くより京都の業者などの制作を依頼したり、中国から輸入したものを長崎経由で購入したものである。一方、夜間は昼間の幕に替わり、地元の描き手によって描かれた額（がく）と呼ばれる絵灯籠に付け替えられ、中に明かりをとす。夜間の額は毎年描き変えられる。

ヤマの運行は組が取り仕切る。組は男性のみで構成される。中学生～高校生で囃子方の乗子、その後は正式に組の一員となり、厳格な上下関係の元にしきたりを学んでいく。組は組頭（くみとう）を筆頭とし、副組頭、小頭、理事、幹事（評議員）、などが続く。

《田名部まつり 町内別「ヤマ」の名称やご神体一覧》

ヤマ順	名 称	町名 組名	御神体	見送り幕
先 山	稲荷山	横迎町 豪川組	稲荷神/白狐一對	黄鶴に乗った仙人の図
二番山	猩猩山	小川町 義勇組	猩猩神	鳳凰が仙人を乗せて飛ぶ図
三番山	大黒山	柳町 共進組	大黒天	義光が秘曲を授ける図
四番山	蛭子山	本町 明盛組	蛭子様	大亀が仙人を乗せて泳ぐ図
後 山	香爐峯	新町 新盛組	清少納言	鬼若丸が鯉に乗っている図/やま 紅毛唐人憩図

《囃子・掛け声》

囃子は横笛、鼓、手平鉦、大太鼓、小太鼓で演奏される。主な囃子は二種類ある。昼間は町内を運行時に奏でられる祇園囃子で静かで哀愁のある曲調、夜間に田名部神社前に整列時および運行時に奏でられるヤマヤレでアップテンポで技巧を凝らした笛のメロディラインが特徴である。

辻回しの掛け声にも種類があり、豪川組稲荷山「トドコーターノー」、義勇組猩猩山と共進組大黒山および新盛組香爐峯「ヤデカラーセーノー」、明盛組蛭子山「トドコーセーノー」のかけ声で辻を回す。「ヤッ トーレッ」でヤマの向きを微調整する。夜間には「ヤマヤレ ヤマヤレ」のかけ声でヤマを曳く。「おしまこ」や各組特有の持ち歌を唄いながら曳

くこともある。

《田名部まつりの見どころ》

田名部祭は大きく分けて「静・動」の二面性を持つ。

昼の運行は山車の動き囃子もそれを曳く人々も、荘厳で威風堂々した趣を持ち、行列もまた「神事」としての風格と威厳をもって行なわれる。神楽の先導で始まり、山車・稚児行列・氏子・神職・神輿・警固・神楽で終わり、嘉永年間とほぼ同様である。

夕方から夜にかけては昼間の装飾幕から「額」と言う絵灯籠に替えて、その囃子も昼とは一変しテンポの早い囃子に変わる。

それからいよいよクライマックスの五車別れに入る、五車別れとは祭典の最後の儀式で5台のヤマが神社前の交差点に見送り絵を相対し集まり、鏡割りをし神社代表

や各組頭らが柄杓で乾杯し祭典の無事と来年の再会を期し、その後大勢の見物人にも柄杓で神酒が振舞われる。

そして、もう一つの見どころは、下北の上質な郷土芸能の数々が祭り期間中、神社境内で披露される。能舞の神降し（祈祷舞）、切れ味のよい上品な権現舞などである。



この祭が終わると下北の短い夏は終わる・・・



【編集後記】前月号同様、自宅で新聞記事や過去のデータなどからの紙面になりました。新聞記事ネタも他に風間浦村のガソリンスタンド公営化やむつ総合病院の改修の可否へ向けた耐震設計調査計画も応募事業者がなく手詰まり状態が続いているようです。こうした中で「コメ問題」を取り上げたのは2,000円備蓄米というカンフル注射的な政策で自民党が参院選を乗り切ろうとしていることに危機感を感じています。もちろん消費者として安価を望みながらも農民連の資料を拝見しながら、あらためて農業政策の問題点や他国の政策との差異を理解したところです。ライフワークとしている核廃棄物や原発問題でももっと踏み込んだ発信ができるよう、もう少しだけ「フォーラムしもきた」を続けたいと思います。ぜひお付き合いください。